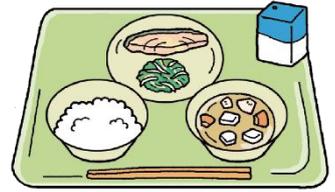


1月 給食たより

令和7年度
さいたま市立針ヶ谷小学校
お子さんと一緒にご覧ください

1月24日から30日は「全国学校給食週間」です。学校給食は、成長期にある子どもたちの心身の健やかな成長、発達を支え、望ましい食習慣と食に関する実践力を育みます。



日本の学校給食

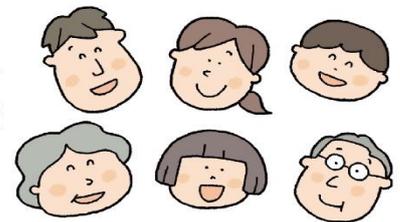
日本の学校給食は、明治22年（1889年）に山形県の私立忠愛小学校で、貧しくて昼食を用意できない子どものために、無償で提供されたのが始まりといわれています。その後、戦争などで一時中断しましたが、第二次世界大戦後に再開されました。

現在の給食は、栄養バランスのよい食事で成長期にある子どもたちの健やかな成長を支え、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。



給食の思い出を聞かせてください

学校給食は長く続いていて、保護者の方たちも食べてきた人が多いと思います。好きだった献立や印象深いできごとなどをぜひ家族で語り合ってみてください。



1月の献立を紹介します♪

- 1月20日～23日は針ヶ谷小の給食週間です。自分で選んだ給食や、学校で人気の高い献立が登場します。こどもたちは、アンケートをとった12月から「リクエスト給食」は何がでるのか？いつあるのか？とたくさん質問がくるくらいとても楽しみにしている様子です。
- 1月26日～30日は「全国学校給食週間」にちなんで、昔の給食でよくでていた「くじらの竜田揚げ」や、さいたま市との姉妹都市の郷土料理などを提供しています。

12月の給食の様子をご紹介します！

12月3日（水）4年生がくわいの薄皮とりをしました。くわいは埼玉県の特産品です。むいたくわいは給食室で揚げにして塩をふって旬の味を楽しみました。

最初は、くわいの薄皮の剥き方が分からずに苦労していましたが、一つむけるとコツをつかんでどんどんとむき始めていました。班で仲良く教え合いながらむいていました。くわいの見た目におどろく児童は少なくなかったですが、一口食べてみると「ほくほくしたポテチだ！」と言っておいしそうに味わっていました。残食も少なかったです。後日「くわいごはん」も提供しました。4年生の児童から「くわいが好きになった！めっちゃおいしいからもっと食べたい。」、6年生の児童から「卒業までに高級食材のくわいが食べられて嬉しかった。とてもおいしかったです」という感想をもらいました。

